

白川よう子



ジェンダー平等社会へ
四国比例に女性衆院議員を

20日、愛媛県松山市でおこなわれた
県後援会総会に参加。
コロナ禍で誰ひとり置き去りにしな
い政治をめざして後援会の役割がま
す重要になるなか、新たな後援会活
動のあり方などが議論されました。
会場付近に貼られたたっくさんのポ
スターにも励まされました。



19日、四国4県の民商のみなさん
と高松市の四国経済産業局に「持
続化給付金」の改善や経営支援策につ
いて具体例をもとに改善を要請しま
した。
経産局の職員の方が、土日も休ま
ず電話相談を受けていることに敬意
を持ちつつ、コロナの影響で苦しむ
経営者やフリーランスの思いを届け
ました。

「#国会を止めるな」の声をよそに通常国
会が閉会。コロナ危機の克服はこれからが正
念場です。

19日、四国4県の民主商工会の皆さんと
「持続化給付金」の改善などを求めて、四国
経済産業局に要請を行いました。事業者が給
付をどれだけ待ちわびているか。申請と審査
の簡素化で迅速に給付できるよう、審査は後
回しのドイツ方式にも学ぶべきです。

倉林明子参院議員が厚生労働委員会で「事
業収入の3割以上減収要件」について「見込
みで減免し、結果3割以上減らなくても取り
消しとせず、返金も求めない」との大臣答弁
を引き出しました。

今年2月以降で1カ月の売上が、前年収入
の12分の1(月額平均収入)と比べ3割以上
減少していれば「国保減免申請」ができる
と、京都市や横浜市などの自治体が対応を始
めています。

厚労省通達を読み込めていない自治体も
あり、従来の減免制度の延長としかとらえて
いない場合も多々あります。各分野からの運
動が大事です。

四国各県への行脚も再開。高知県の土佐市
で、漁業、農業の方と懇談、一次産業への対
策やコロナを乗り越えた社会への展望を語
り合いました。愛媛県で延期になっていた県
後援会総会が開かれました。8月末にも解散
か？の声もあがっています。まさに生命と暮
らしのかかった選挙戦、負けられません。

よう子記
